

PRsj

PUBLIC RELATIONS
SOCIETY OF JAPAN

NEWS

2013 年 1 月

NO. 237

TOPICS

「年頭に当たって」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事長 森 健
MESSAGE P3

「新春PRフェスタ 2013 を 1 月 23 日に開催します！」

ATTENTION P4

「広報PRアカデミー2012

PRプランナー1次試験対応講座を2月開講」

ATTENTION P5

「広報PRアカデミー2012

マーケティング/ブランド・コミュニケーション講座を開講」

ATTENTION P6

「第12回PRプランナー資格検定1次試験(3月3日)

受験申込締切迫る！」

ATTENTION P7

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <http://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 森 健

1月号 目次

1月・2月のスケジュール	—	1
MESSAGE(メッセージ)	「年頭に当たって」	— 3
ATTENTION(お知らせ)	「新春PRフェスタ2013」を1月23日に開催します！」	— 4
〃	「広報PRアカデミー2012「PRプランナー1次対応講座」を2月開講」	— 5
〃	「広報PRアカデミー2012「マーケティング／ブランド・コミュニケーション講座」を開講」	— 6
〃	「第12回PRプランナー資格検定1次試験(3月3日)受験申込締切迫る！」	— 7
BULLETIN(活動報告)	「第11回PRプランナー資格検定2次試験を11月18日に実施」	— 8
〃	「日本PR大賞「パ・ソン・オブ・サ・イヤ-」「シチス・ン・オブ・サ・イヤ-」及び「PRアワード・グランプリ」決まる！」	— 9
〃	「第8回企業部会フォーラムを11月20日に開催」	— 12
〃	「第24回PRスキル研究会開催報告」	— 12
REPORT(講演レポート)	「第144回定例研究会報告」	— 13
PR TREND(PRTトレンド(国内))	「ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング2012年11月度」	— 14
PR TREND(PRTトレンド(関西))	「関西の風：歴史の重み — 長寿企業」	— 15
BOOKS(書籍・参考文献)	「Webライティング実践講座 ～ニュースリリースから商品説明まで～」	— 16
PRSJ in Media	「12月度協会掲載記事」	— 17

1月～2月スケジュール

広報PRアカデミー2012 「PRプランナー試験対応コース」 3次試験対応講座	日 時 会 場	1月8日(火)・1月15日(火)・22日(火) いずれも 19:00～21:30 六本木アカデミーヒルズ 49
平成 25 年度広告界合同年賀会	日 時 : 会 場 :	1月8日(火) 15:00～17:30 帝国ホテル「孔雀の間」
第7回広報活動研究会(企業部会) 「小田急電鉄㈱ 訪問」	日 時 : 会 場 :	1月18日(金) 14:20～16:40 小田急電鉄㈱ 大野総合車両所
新春PRフェスタ 2013 「第4回新春PRフォーラム」	日 時 : 会 場 : 内 容 :	1月23日(水) 16:00～18:00(予定) 六本木アカデミーヒルズ 49「スカイスタジオ」 第1部 日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」 「シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式及び 受賞者受賞記念スピーチ 第2部 新春特別講演 講師:㈱三井物産戦略研究所会長・多摩大学学長 寺島実郎氏
「新年懇親会」	日 時 : 会 場 :	1月23日(水) 18:30～20:30(予定) 六本木アカデミーヒルズ 49「タワーホール」
第11回PRプランナー認定資格 検定 3 次試験	日 時 : 会 場 :	1月26日(土) 12:30～16:00 富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター(東京)
広報PRアカデミー2012 「プロフェッショナル 広報・PR実務シリーズ」	日 時 : 会 場 : 講 師 : テ ー マ :	1月30日(水) 19:00～21:00 六本木アカデミーヒルズ 49 帝人㈱ 広報室長 宇佐美吉人氏 「経営課題としてのCSRと広報・PR戦略の推進」
なでしこカウンスル	日 時 : 会 場 : 講 師 :	2月7日(木) 12:00～14:00 クルーズクルーズTHE GINZA ㈱TMオフィス 代表取締役 殿村美樹氏
広報PRアカデミー2012 「プロフェッショナル 広報・PR実務シリーズ」	日 時 : 会 場 : 講 師 : テ ー マ :	2月13日(水) 17:00～21:00 六本木アカデミーヒルズ 49 ㈱田中危機管理広報事務所 代表取締役 田中正博氏 「危機管理の心構えと クライシス・コミュニケーション推進のポイント」

1月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会（1月度）	日 時	： 1月15日（火） 12：00～14：00
	場 所	： 六本木ヒルズクラブ
幹部会（経営会議）（1月度）	日 時	： 1月15日（火） 10：30～11：45
	場 所	： 協会会議室
教育委員会（1月度）	日 時	： 1月9日（水） 17：00～18：30
	場 所	： 協会会議室
資格委員会（1月度）	日 時	： 1月29日（火） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
交流委員会（1月度）	日 時	： 1月17日（木） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
広報委員会（1月度）		
PR小委員会(1月度)	日 時	： 1月16日（水） 14：00～16：00
	場 所	： 協会会議室
出版小委員会(1月度)	日 時	： 1月16日（水） 16：00～18：00
	場 所	： 協会会議室
顕彰小委員会(1月度)	日 時	： 1月16日（水） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室
企業部会幹事会（1月度）	日 時	： 1月10日（火） 14：00～15：00
	場 所	： 協会会議室
PR業部会幹事会（1月度）	日 時	： 1月17日（木） 16：00～18：00
	場 所	： 協会会議室
IT委員会（1月度）	日 時	： 1月11日（金） 12：00～14：00
	場 所	： 協会会議室

年頭に当たって

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事長 森 健

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、日本経済の低迷、東日本大震災からの復旧・復興、原発・エネルギー問題、外交・安全保障上の諸問題など、日本を取り巻く環境は厳しく、そうした状況を打破すべく、今後の日本の在り方や進み方について、様々な議論がされた年でした。年末の総選挙の結果、新しい政府が生まれましたが、今こそ問題の先送りをやめ、改革への歩みを加速させなければなりません。そのためには「国民の合意形成」が必要であり、「コミュニケーションが果たす役割」はますます高くなっているといえます。

昨年、日本パブリックリレーションズ協会は、「公益法人」として認定を受けました。それに伴い、これまで以上に協会活動の社会性を意識し、広く公益に資する事業展開を目標としてまいります。①広報・PR技術研鑽のための各種教育プログラム ②PRプランナーの育成と社会的認知向上のためのPRプランナー資格制度 ③ 広報・PR活動の認知・理解促進のための顕彰制度など、社会的ニーズや会員の皆様のニーズにより適合した方向で、さらなる改善を目指します。

そうした協会活動のベースとしては、まず組織の強化、財政基盤の強化が必要となります。リーマンショック後の景気後退で落ち込んだ会員数は、お蔭様で回復基調にあり、昨年は30社余りの新会員の方々にご加入をいただきました。本年も引き続き会員拡大の努力を続けてまいりますので、会員の皆様方のご紹介、ご推薦など、よろしくお願い申し上げます。

震災後は、「つながり」あるいは「絆」といったことが、社会の共通の価値として再認識され、人と人をつなぐ「コミュニケーションの役割」が改めて問われることとなりました。外部からは「今こそ広報・PRの力を」という意見が、広報・PR関係者への期待として寄せられ、また業界内部からも、業界人の「志」として、新たな挑戦への「決意」として表明されています。

業界の発展（その結果、業界として、より大きな社会的責任を果たすこと）は、一人ひとりの広報人の日々の努力の集合的積み重ねによるものです。日本PR協会は、協会の会員一人ひとりの皆様に、より充実した「学びの場」「交流の場」を提供することによって、今後とも広く業界の発展に寄与することができたらと存じます。

本年も、変わらぬご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

予 告

「新春PRフェスタ 2013」を 1月23日(水)に開催します！

すでにご案内の通り、新年1月23日(水)に「新春PRフェスタ 2013」(「新春PRフォーラム」「新年懇親会」)が開催されます。

まず、「第4回新春PRフォーラム」では、第1部に日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び「シチズン・オブ・ザ・イヤー」の表彰式を執り行います。

2012年度日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」は日本文化研究の第一人者で、コロンビア大学 名誉教授のドナルド・キーン氏、2012年度日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」は、財団法人 丸岡町文化振興事業団 常務理事の大廻 政成氏に決定しました。

当日はお二人とも、表彰式にご出席いただき、受賞記念のスピーチをしていただく予定です。

第2部は新年特別講演として、(株)三井物産戦略研究所会長、多摩大学学長の寺島 実郎氏にご講演いただきます。

「新春PRフォーラム」は一般の方のご参加も可能ですので、奮ってのご参加お待ち申し上げます。

「新春PRフォーラム」終了後、新年懇親会を行います。会員相互の親睦を図ることはもちろんですが、日頃お世話になっている報道関係の方々との懇談をお願いいたします。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ新春の一日を日本PR協会の行事でお過ごしいただければ幸いです。

【第4回新春PRフォーラム】

開催日時：

第1部 2013年1月23日(水) 16:00~17:00(予定) (開場 15:30)

2012年度日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び

「シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式と受賞記念スピーチ

「パーソン・オブ・ザ・イヤー」：受賞者はドナルド・キーン氏

「シチズン・オブ・ザ・イヤー」：受賞者は大廻 政成氏

第2部 2013年1月23日(水) 17:00~18:00(予定)

新春特別講演

講師：株式会社三井物産戦略研究所会長・多摩大学学長 寺島 実郎氏

会 場：六本木ヒルズ森タワー49階・アカデミーヒルズ49「スカイスタジオ」

会 費：会員 1名 6,000円 (次ページ※参照)

PRプランナー(准・補含む) 6,000円

非会員 1名 8,000円

学生 1名 3,000円

(お申込到着後、請求書をお送りいたします。)

定 員：100名(1社何名様でもお申込可能です。一般(会員外)のご参加も可能です。)

【新年懇親会】

開催日時：2012年1月23日(水) 18:30~20:30(予定)

□受付開始(18:00~) □開場(18:20~) □開演(18:30~)

会 場：六本木ヒルズ森タワー49階・アカデミーヒルズ49「タワーホール」

会 費：1名 6,000円(お申込到着後、請求書をお送りいたします。)(下記※参照)

新年懇親会は参加人数の制限はございません。1社何名様でもお申込可能です。

広報PRアカデミー2012

「PRプランナー1次試験対応講座」を2月開講

—協会Webで受講申込み受付中—

教 育 委 員 会

先月もお知らせしましたが、PRプランナー資格への登竜門「PRプランナー資格認定1次試験」合格をめざす「1次試験対応講座」を、2月5日より5回にわたり六本木アカデミーヒルズ49にて開講します。

現在、受講申込みをPR協会Webサイトで受付けており、協会内外の一般企業・団体、PR会社でPRプランナーをめざす多くの広報・PR関係者より申込みをいただいております。



本講座では、過去の1次試験で実際に出题された問題を使用した模擬試験を実施します。模擬試験終了後における問題と解答の解説を通じて広報・PRにおける各分野の基本的な知識を習得するとともに、試験の形式やレベルの習得ができる実践的な試験対策講座です。

また、インターネットを利用し会場外から受講できる「Web受講サービス」を提供します。本サービスでは、地方等の遠隔地や自宅外から講座をライブで受講できるとともに、終了した講座はアーカイブの視聴により、休日、夜間などご自身の都合の良い時に学習することができます（アーカイブは視聴期間限定）。このため、日々の業務に追われる多忙な方々も容易に受講でき、受験準備を進めることが可能です。

Web受講も可能な会場受講は、2月5日まで申込みを受付けます。なお、Web受講は、講座開講後も申込みを受付けます（終了後の講座については、アーカイブにより受講できます）。

講座の詳細と受講申込みは以下の協会Webサイト「セミナー/イベントを探す」（下記URL）をご参照ください。

http://event.prsj.or.jp/event/prp/1st_exam

■PRプランナー1次試験対応講座の概要

日 程	講 座 内 容	講 師	受講料	申込締切
2月5日(火) 19:00～21:30	・パブリックリレーションズの基本 ・企業経営とパブリックリレーションズ ・広報・PRマネジメント	(公社)日本パブリックリレーションズ協会 事務局次長 真部一善	会場受講＋ Web受講 一般 31,500 円 学生 18,900 円 PR協会会員 21,000 円	会場受講＋ Web受講 2月5日(火) まで Web受講 2月1日(金) まで 講座開始後 でも受けま すが、終了 後の講座は アーカイブ の視聴のみ となります
2月12日(火) 19:00～21:30	・コミュニケーションとPR ・メディアリレーションズ ・マーケティングとPR	(株)プロペラ・コミュニ ケーションズ 代表取締役 永井 昌代 氏		
2月19日(火) 19:00～21:30	・行政・団体の広報活動 ・国際広報 ・企業と危機管理 ・経営倫理とプロフェッショナリズム	(株)プロペラ・コミュニ ケーションズ 代表取締役 永井 昌代 氏	Web受講のみ 一般 21,000 円 学生 18,900 円 PR協会会員 21,000 円	
2月26日(火) 19:00～21:30	・インベスターリレーションズ ・エンプロイヤーリレーションズ ・ネットPR	(公社)日本パブリックリレーションズ協会 事務局次長 真部一善		

日本PR協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

広報PRアカデミー2012

「マーケティング/ブランド・コミュニケーション講座」を開講 —「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」第2回講座—

教 育 委 員 会

さる12月12日、「広報PRアカデミー2012 プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」の第2回となる「マーケティング/ブランド・コミュニケーション講座」が、六本木アカデミーヒルズにて開講されました。

本講座では、マーケティング・消費者行動・ブランド・広告分野の研究に著名な中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋氏を講師に迎え、マーケティングの基礎理論の理解とコミュニケーション計画の立案に、4時間にわたって24名の受講者が取り組みました。



講座で田中講師は、マーケティング戦略立案の枠組みであるSTP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング）について、実例を交えながら理解しやすく解説しました。そして地ビールの販売活性化のマーケティング戦略を検討する課題を提示し、マーケティングの考え方をベースとした広報・PR戦略の立案についてグループ演習を実施しました。演習では各グループがそれぞれの検討内容を発表、他グループとのディスカッションを通じて計画立案に関する理解を深めました。

「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」は、広報・PRの第一線で活躍する実務者を対象に、より高いレベルにおける業務の遂行に不可欠な広報・PRの専門的知識や理論、考え方などの習得をめざす講座です。コーポレート・コミュニケーション、マーケティング/ブランド・コミュニケーションに引き続き、1月にはCSRコミュニケーション、2月にはクライシス・コミュニケーションをテーマに講義を予定しています（3月開催予定のグローバル・コミュニケーション講座の講師は、現在選定を進めています）。

講座の詳細/お申込みは、日本PR協会Webサイト「セミナーイベントを探す」の「専門・応用コース/プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」ページ(以下URL)をご参照ください。

<http://event.prsj.or.jp/event/advanced/professional>

■講座概要

日 時	講座テーマ	講 師	締 切
1月30日(水) 19:00～21:00	経営課題としてのCSRと広報・PR戦略の推進	帝人(株) 広報室長 宇佐美吉人氏	1月25日 (金)
2月13日(水) 17:00～21:00	危機管理の心構えと クライシス・コミュニケーション推進のポイント	(株)田中危機管理広報事務所 代表取締役社長 田中正博氏	2月8日 (金)
3月13日(水) 19:00～21:00	世界に向けたグローバル・コミュニケーション の戦略と活動(仮)	選定中	3月8日 (金)

第12回PRプランナー資格検定試験

1次試験（3月3日）受験申込締切迫る！

受験予約は1月18日まで

資格委員会

<東京会場>

会場 法政大学 市ヶ谷キャンパス



<大阪会場>

会場 毎日インテシオ



<福岡会場>

会場 福岡建設会館



第12回PRプランナー資格検定1次試験の受験者募集受付は1月18日(金)までとなります。受験を予定されている会員社員の皆様には、早目のお申込みをお勧めいただければ幸いに存じます。

併せて、受験の促進につきまして、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、1次試験の試験日は、2013年3月3日(日)（会場：東京、大阪、福岡）となります。詳細は、日本PR協会の資格制度専用Webサイト (<http://pr-shikaku.prsj.or.jp/>) をご覧ください。

第12回1次試験 実施概要

試験日	2013年3月3日(日)
会場	東京会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 大阪会場：毎日インテシオ 福岡会場：福岡建設会館（地下鉄空港線 東比恵駅 下車徒歩2分）
募集定員	東京会場：400名、大阪会場・福岡会場：各80名
受験応募・申込方法	資格制度Webサイトで受験予約を行った上で申込書を郵送
受験予約期間	2012年12月3日(月)～2013年1月18日(金)
申込書送付期間	2012年12月4日(火)～2013年1月25日(金)＜必着＞

第12回2次試験 実施概要

試験日	2013年5月19日(日)
会場	東京会場・大阪会場・福岡会場 ※福岡の最少実施人数は20名となります。福岡会場での受験者が、20名に満たない場合は、受験料のご返金、もしくは東京・大阪いずれかの会場に変更となりますので、予めご了承ください。
受験予約期間	2013年3月18日(月)～4月5日(金)
申込書送付期間	2013年3月19日(火)～4月12日(金)＜必着＞

※実施会場は変更する場合がございますので、予めご了承ください。

第 11 回PRプランナー資格検定試験**2 次試験を 11 月 18 日に実施****265 名の受験者が挑戦！****資 格 委 員 会**

11 月 18 日（日）に東京・明治大学 リバティータワーと大阪・毎日インテシオで行われました。2 次試験では、受験申込者 323 名（東京 253 名、大阪 70 名）のうち、当日は 298 名の受験者が受験し、新たに 191 名が 4 科目合格されました。

当日の東京は、木枯らしが吹く強風でしたが、無事終了することができました。ご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

今回の 2 次試験の受験者、および合格者・合格率は以下の通りです。

**第 11 回 科目別 2 次試験 合格率****【受験者…298 名】**

東京 229 名：会員社員 67 名、一般 145 名、学生 17 名

大阪 69 名：会員社員 10 名、一般 52 名、学生 7 名

【4 科目受験者、合格者】

4 科目受験者 212 名：会員社員 53 名、一般 137 名、学生 22 名

〃 合格者 143 名：会員社員 39 名、一般 95 名、学生 9 名

※合格率：67.5%（第 10 回：69.5%、第 9 回：77.2%）

【3 科目以下の受験者】

4 科目累計合格 48 名：会員社員 15 名、一般 32 名、学生 1 名

【科目別合格率】

科目 A 「CSR、IR、危機管理等、経営と広報・PRに関する知識」

受験者：254（会員社員 62 名、一般 169 名、学生 23 名）

合格者：196（会員社員 47 名、一般 135 名、学生 14 名）

合格率：77.2%（会員社員 75.8%、一般 79.9%、学生 60.9%）

科目 B 「マーケティング及びブランドマネジメントに関する知識」

受験者：245（会員社員 59 名、一般 163 名、学生 23 名）

合格者：186（会員社員 49 名、一般 123 名、学生 14 名）

合格率：75.9%（会員社員 83.1%、一般 75.5%、学生 60.9%）

科目 C 「PR 実務に関する知識」

受験者：222（会員社員 56 名、一般 143 名、学生 23 名）

合格者：179（会員社員 49 名、一般 114 名、学生 16 名）

合格率：80.6%（会員社員 87.5%、一般 79.7%、学生 69.6%）

科目 D 「時事知識」

受験者：263（会員社員 72 名、一般 168 名、学生 23 名）

合格者：212（会員社員 62 名、一般 134 名、学生 16 名）

合格率：80.6%（会員社員 86.1%、一般 79.8%、学生 69.6%）

日本PR大賞

「パーソン・オブ・ザ・イヤー」にドナルド・キーン氏

「シチズン・オブ・ザ・イヤー」に大廻 政成氏

「PRアワードグランプリ」に(株)電通パブリックリレーションズ

『もっとクロス！計画

～日本赤十字社PR力強化プロジェクト～』

広報委員会 顕彰小委員会

2012 年度日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」及び「PRアワードグランプリ」の受賞者(社)が以下のように決定いたしました。

日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」

既報のとおり、2012 年度から協会が公益法人に移行したことを記念して、従来の「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」とは別に「PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」を新設、表彰することとなりました。

日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」は、その基本理念であるパブリックインタレスト（公益）に貢献した人、あるいはそれぞれの分野でPRの視点から活躍した人を表彰するもので、過日、会員の皆様方に投票していただいた結果を基に、広報委員会 顕彰小委員会での最終審議を経て、今年度の受賞は日本文化研究の第一人者で、コロンビア大学 名誉教授のドナルド・キーン氏に決定しました。

また、日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」は、「地道で独創的な広報・PR活動」の掘り起しを目的に、企業や団体に長年にわたり独創的な広報・PR活動を実践し、広く社会や地域の発展に寄与し、奨励に値する成果を収めた個人またはグループ（NPOを含む）を公益法人として認定・顕彰するものです。過日会員の皆様に推薦していただいた10名の中から、第1回は財団法人 丸岡町文化振興事業団 常務理事の大廻 政成氏に決定しました。

【日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」】

受賞者：ドナルド・キーン氏

受賞理由：昨年、東日本大震災を契機に、多くの外国人が日本を離れる中、日本永住を決意し、「私は『日本』という女性と結婚する」として2012年3月8日、日本国籍を取得された。90歳でのその行動と存在は、震災で傷ついた多くの日本人に感銘を与えた。また、取材や講演を通じて新たな祖国日本にエールを送り続けている。多くの人々の共感を呼び、日本社会を勇気づけた行為は、パブリックインタレストに大きく貢献したと評価される。

【日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」】

受賞者：大廻 政成氏

受賞理由：今年で20周年を迎える「日本一短い手紙 一筆啓上賞」の仕掛け人。現代の人々に手紙の持つ力を再認識させるとともに、福井県丸岡町を手紙文化のふるさとにした。入選作をまとめた書籍は毎年ベストセラーに名を連ね、外国語にも翻訳。映画やドラマ、舞台としても上演され、世界に多くの感動を届けている。

なお、表彰式ですが、1月23日（水）開催の「新春PRフェスタ2013」の「新春PRフォーラム」第1部で執り行います。

PRアワードグランプリ



㈱電通パブリックリレーションズの『もっとクロス！計画 ～日本赤十字社PR力強化プロジェクト』でした。

また、部門最優秀賞は、コーポレート・コミュニケーション部門が大阪市交通局／㈱博報堂／㈱大広／㈱オズマピーアールの『「元気な大阪」体験取材プログラムで5つのWIN それいけ！OSAKAはっけん隊』、

12月6日（木）、六本木アカデミーヒルズ49「オーディトリウム」において、2012 年度「PRアワードグランプリ」の最終審査会が開かれ、グランプリ1作品、部門最優秀賞3作品が決定しました。

特別審査員4名、各部門審査員長4名、会員公募の審査員36名による厳正な選考の結果、最高得点（グランプリ）を獲得したのは、



グランプリ：㈱電通パブリックリレーションズ

マーケティング・コミュニケーション部門が㈱電通／森永製菓㈱の『森永製菓「森永甘酒」のための甘酒市場活性化を目的としたPR活動』、



コーポレート・コミュニケーション部門
最優秀賞：大阪市交通局／㈱博報堂／
㈱大広

ソーシャル・コミュニケーション部門がブルーカレント・ジャパン㈱の『熱中症や感染症による「脱水状態」に対する正しい知識の認知向上 教えて！「かくれ脱水」委員会』にそれぞれ決定しました。



マーケティング・コミュニケーション部門
最優秀賞：㈱電通／森永製菓㈱



ソーシャル・コミュニケーション部門
最優秀賞：ブルーカレント・ジャパン㈱

表彰式は最終審査会終了後、同会場にて執り行いました。



グランプリ受賞の㈱電通パブリックリレーションズ
花上氏(中央)

<2012年度「PRアワードグランプリ」> (優秀賞は各部門エントリー順)

賞	活動の名称	エントリー会社
PRアワードグランプリ	もっとクロス！計画 ～日本赤十字社PR力強化プロジェクト～	㈱電通パブリックリレーションズ
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	「元気な大阪」体験取材プログラムで5つのWIN それいけ！OSAKAはっけん隊	大阪市交通局／㈱博報堂／㈱大広／㈱オズマピーアール
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	「社員食堂」を起点としたブランディング	㈱タニタ
コーポレート・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	記録誌「読者へ届けるために 東日本大震災朝日新聞社の記録」の発行と継承	朝日新聞社
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	森永製菓「森永甘酒」のための甘酒市場活性化を目的としたPR活動	㈱電通／森永製菓㈱
マーケティング・コミュニケーション部門 ＜優秀賞＞	沖縄への修学旅行促進PRプロジェクト ～沖縄キャラバン隊と地域の交流で、修学旅行を「自分ゴト化」～	㈱井之上パブリックリレーションズ
ソーシャル・コミュニケーション部門 ＜最優秀賞＞	熱中症や感染症による「脱水状態」に対する正しい知識の認知向上 教えて！「かくれ脱水」委員会	ブルーカレント・ジャパン㈱

会 員 限 定

**「第 8 回企業部会フォーラム」を 11 月 20 日に開催
日経BP社 日経ビジネスオンライン 編集長
飯村 かおり氏による
「日経ビジネスのオンライン・デジタル戦略について」**

— 企 業 部 会 —

企業部会では、さる 11 月 20 日（火）に、第 8 回目となる「企業部会フォーラム」を六本木ヒルズクラブにて開催しました。

今回の「企業部会フォーラム」では、日経BP社 日経ビジネスオンライン 編集長の飯村かおり氏をお招きし、「日経ビジネスのオンライン・デジタル戦略について」と題して、ビジネス誌のトップランナーとして企業経営者に大きな影響を持つ日経ビジネス誌のデジタル戦略等に関するお話を伺いました。

参加された30名の企業広報の責任者・担当者から多くの質問が寄せられ、それに対して飯村氏はひとつずつ丁寧に、また、フランクに回答されていました。

**第 24 回PRスキル研究会
～PRがキャンペーンの中核を担う～
「PR発想のインテグレートッドキャンペーン」**

— P R 業 部 会 —

2012 年 11 月 22 日に行われた第 24 回PRスキル研究会では、㈱博報堂ケトル 代表取締役社長 嶋 浩一郎氏を講師にお迎えし、PR発想のインテグレートッドキャンペーンについてお話を伺いました。カンヌ国際クリエイティビティ・フェスティバルの審査員を務めるなど、数々のインテグレートッドキャンペーンを手がける嶋氏の興味深い講演に 39 名の方が参加されました。

会 員 限 定**第 144 回定例研究会
「カンヌライオンズ 2012」にみるPRの世界的潮流****講師：㈱電通パブリックリレーションズ****第2ディレクション局 次長 井口 理 氏**

第 144 回定例研究会を 11 月 27 日（火）、アカデミーヒルズ 49 階で開催。講師は㈱電通パブリックリレーションズ 第 2 ディレクション局 次長 井口 理氏。テーマは、「「カンヌライオンズ 2012」にみる P R の世界的潮流」。49 名方にご参加いただきました。

ELトレンド指数で見るキーワード・ランキング 2012 年 11 月度

(株)エレクトロニック・ライブラリーは、2012 年 11 月度の「話題のキーワード・ランキング」を発表しました。

これは、10 月に発行された新聞 96 紙・雑誌約 100 誌のうち、「E L N E T」に登録されているキーワード約 263 万語のヒット数の増減を数値化した「ELトレンド指数」等をもとに「一般キーワード」と「企業キーワード」に分けて分析したものです。

「一般キーワード」と「企業キーワード」のTOP10は以下の通りです。

■ 2012 年 11 月度 EL一般キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	13.04	日本維新の会	6位	5.00	第三極
2位	11.91	太陽の党	7位	4.75	国民の生活が第一
3位	5.80	日本未来の党	8位	4.27	党首討論
4位	5.66	都知事選	9位	4.14	ユーロ圏
5位	5.49	原子力規制委員会	10位	4.09	衆院選

■ 2012 年 11 月度 EL企業キーワード TOP10

順位	トレンド指数	キーワード	順位	トレンド指数	キーワード
1位	4.02	シンドラーエレベータ	6位	1.78	ムーディーズ・ジャパン
2位	2.60	新日鉄住金	7位	1.57	富士重
3位	2.36	新銀行東京	8位	1.54	日本銀行
4位	2.02	日本郵便	9位	1.51	アイフル
5位	1.82	かんぽ生命保険	10位	1.46	日立金属

※E L N E Tホームページでは毎月の発表を週刊にバージョンアップした上で、「ELウィークリートrend」として毎週水曜日に発表しています。

詳細は以下ご参照ください。

<http://www.elnet.co.jp/el/trend/index.html>

<コラム 関西の風>

歴史の重み —— 長寿企業

東洋紡(株) 広報室 広報室長
松下 豊

関西では、2012 年が区切りの年となる企業が目立った。シャープ、ヤンマーが 100 周年を迎え、日本銀行大阪支店は 130 周年を迎えている。今年ではないが、近畿日本鉄道は 2010 年 9 月に 100 周年だったし、ダイキンは今が 88 年目で、90 周年に向けてご準備をされていると聞く。区切りの年ではないが、長寿企業でよく名前が出てくるのが社寺建築の「金剛組」(大阪)だ。創業が西暦 578 年だから今年で 1434 年を迎えたことになる。

手前味噌で申し訳ないが、弊社も今年 5 月に創立 130 周年を迎えることができた。東洋紡の前身となる大阪紡が 1882 年(明治 15 年)に創業してからである。明治時代から活躍した実業家・渋沢栄一の尽力のもと、日本で最初の大規模民営紡績会社となった大阪紡は、後に三重紡と合併して東洋紡になった。

長年にわたり企業が存続できる条件とは何であろうか。各社に強み、弱みがあるので、一概にはいえないが、弊社では「時代の変化に対応できること」だと考えている。綿紡績から起こり、化学合成繊維を導入し、そこから派生した樹脂やバイオの分野で新事業を芽吹かせた。うまく育たなかった事業もあったが、現在、弊社を支える主力事業は、その頃の技術の派生から起こったものが多い。意外と思われるかもしれないが、今では衣料繊維の売上が全体の 2 割ほどになり、その代わりに食品包装用のフィルム、自動車用のプラスチック素材、海水を淡水化するフィルター、診断薬用酵素などの事業が大きく伸びている。



渋沢 栄一翁

先日、弊社のOBが「今の東洋紡は何をやっているかわからん」と言ったそうだが、綿紡績の時代の方からすると全く事業内容が理解できないらしい。逆に 30 年後にわれわれが「今の東洋紡はわからん」といえるくらいに変化させていかないと、弊社は存続していないのかも知れない。

今、130 周年を機に社内で『130 年史』を制作しており、過去の歴史を記録として残そうとしている。弊社の過去の「不易流行」の実践が、後輩たちへのメッセージになればと願っている。

『Webライティング実践講座 ～ニュースリリースから商品説明まで～』

林 千晶・中野 克平 著 アスキー・メディアワークス刊

2,000 円(+税)

Webサイトやソーシャルメディアから、ニュースリリースの書き方まで、Webライティングの勘所が読むだけでわかる一冊。

ブログやFacebook等、ソーシャルメディアの普及により、昨今文字を書く機会が増えている。ただ書くだけではなく、検索エンジンの発達により、人間だけでなく、検索エンジンという「機械」にも認識されるライティングテクニックが必要になったと著者は説く。

この本では、Web向けに文章を書くことを「Webライティング」と名づけることで、通常のライティングと明確に区別して、そのさまざまなテクニックを紹介し、さらに多彩な事例により実践的に習得できるように、第一線のWebライター・編集者の手により簡潔・丁寧に説明されている。

特筆されるべきは、朝日新聞デジタルに掲載されていたプレスリリースの書き方をさらに細かに解説しながら、Web上におけるニュースリリースの書き方に具体的に言及している点にある。これまで、広報の専門家によるニュースリリースの書き方は幾多紹介されているが、今回、Webライター側から提示される、Web特性を活かしたプレスリリースへのアプローチは大いに役立つものになるであろう。

このように、プレスリリースや商品説明など、文章のプロでない人が大勢の目に触れ、情報を伝えるWeb上で、誰でも上手な文章を書くことができることを念頭においたものとして、ニュースリリースや商品説明等の「文章の型」が用意され、読むだけでWebライティングテクニックのコツがつかめるように工夫されている。

プレスリリースを書くことをすでに日常業務としている我々にとっても、Web上の文章の特性を再度チェックする上でも大いに参考になる一冊となっている。



北村 良輔 (株)アドバンプレス

PRSJ in Media

●12月7日(金) 『アドバタイムス』 (Web)

当協会主催の2012年度「PRアワードグランプリ」の審査会において、日本赤十字社のPR力強化プロジェクト「もっとクロス！計画」（受賞社・電通パブリックリレーションズ）がグランプリに選ばれたことが掲載されました。同社のプロジェクトの概要のほか、他の3部門における受賞プロジェクトについても紹介されています。

●12月14日(金) 『毎日.jp』 (Web) / 『BizBus』 (Web)

当協会主催の「PRアワードグランプリ2012」の審査会において、日本赤十字社のPR力強化プロジェクト「もっとクロス！計画」（受賞社・電通パブリックリレーションズ）がグランプリを受賞したことが掲載されました。各部門への応募と審査、プロジェクトの概要やその名前の由来、他の3部門における受賞プロジェクトについても紹介されています。

●12月15日(土) 『福井新聞』 (Web)

当協会の第1回日本PR大賞「シチズン・オブ・ザ・イヤー」に、坂井市の丸岡町文化振興事業団常務理事の大廻政成氏が選出されたことが掲載されました。手紙の持つ力を再認識させ、世界に感動を届けていることが高く評価され、全国でノミネートされた10人の中から選ばれ1月23日に表彰されることが報じられています。

●12月27日(木) 『月刊広報会議』 2月号

当協会主催の2012年度「PRアワードグランプリ」の審査会において、日本赤十字社のPR力強化プロジェクト「もっとクロス！計画」（受賞社・電通パブリックリレーションズ）がグランプリには選ばれたことが掲載されました。同社のプロジェクトの概要、審査員の東洋大学・井上邦夫教授のコメントのほか、他の3部門における受賞プロジェクトについてもそれぞれの写真を交えて紹介されています。

●1月7日(月) 『47 NEWS』 (Web)

当協会の日本PR大賞第1回「シチズン・オブ・ザ・イヤー」に、坂井市の丸岡町文化振興事業団常務理事の大廻政成氏が選出され、1月23日に表彰されることなどが報じられています。

※上記の他、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」「PRアワードグランプリ2012」については、以下のメディアにても紹介されました。

『エキサイトニュース』

『Yahoo! ニュース』

『Yahoo! ファイナンスニュース』

『ニコニコニュース』

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

F A X 03-5413-2147

※ 禁転載